

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成24年1月27日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証、大証 各市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 理財センタ長
氏名 春田 正輝

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	452,859	0.3	30,137	△18.9	26,323	△26.8	11,641	△49.8
23年3月期第3四半期	451,311	21.8	37,179	—	35,945	—	23,167	—

(注) 四半期包括利益 24年3月期第3四半期 △2,302百万円 (— %) 23年3月期第3四半期 8,663百万円 (268.0 %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	52	89	52	89
23年3月期第3四半期	105	24	105	24

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	523,283	308,247	307,343	58.7
23年3月期	562,790	313,652	312,753	55.6

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
23年3月期	—	—	14	00	—	—	16	00	30	00
24年3月期	—	—	14	00	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	14	00	28	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無
配当予想の修正については、本日(平成24年1月27日)公表いたしました「通期業績予想の修正、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	615,000	△0.5	37,000	△23.0	30,000	△28.0	14,000	△47.7	63	61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無
連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月27日)公表いたしました「通期業績予想の修正、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 有・無
 ② ①以外の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	239,121,372 株	23年3月期	239,121,372 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	19,036,077 株	23年3月期	19,032,544 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	220,086,774 株	23年3月期3Q	220,143,923 株

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(i) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
 業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年8月10日内閣府令第64号）附則第4条の規定により、米国において一般に認められる会計原則に基づいて作成しています。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成24年1月27日（金）に投資家向け説明会を開催する予定です。
 その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

（注）事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B： インダストリアルオートメーションビジネス
 E M C： エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス
 A E C： オートモーティブ・エレクトロニックコンポーネントビジネス
 S S B： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス
 H C B： ヘルスケアビジネス
 その他： 環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレゾリューションテクノロジー(株)など